

1 単元名 語句の使い方や比喩の効果に注意して、解説文を書こう 「ネット時代のコペルニクス」(光村図書3年)

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「筆者の書き方の秘密を探って解説文にまとめる」ことを位置付けた。解説文は、物事の要点や意味などを分かりやすく説明した文のことである。ここでは、抽象的な語句の意味とそれに対応する比喩表現や具体例を取り上げ、それがどのような効果を生んでいるかを考えていく。したがって、「文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと」(C読むことA)を確実に実現するのにふさわしい言語活動であると考えている。

3 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、昨年度、本学級生徒は論説文「モアイは語る」を通して、根拠を確かめながら構成や主張を捉える能力の育成をねらい、論説文の内容や表現の仕方について自分の考えを述べる言語活動を行った。その結果、文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる能力が身に付いた。しかし、論説の文章に多く見られる抽象的な語句を表す語句に注意して読む能力が十分に身に付いているとは言えない。

(2) 教材観

本教材「ネット時代のコペルニクス」は論説の文章にふさわしく、漢語などによる抽象的な概念を表す語句や抽象的で分かりにくい事柄を、比喩や具体例に置き換えて説明する表現が多く用いられている。これらの語句や表現は本校生徒の日常では、あまり用いられないが、文脈の中でそれらの語句がどのような効果を挙げているかに気付く能力を身に付けるのに適した教材であると言える。

(3) 指導観

本単元では、「筆者の書き方の秘密を探って解説文にまとめる」という単元を貫く言語活動を設定する。語句や比喩的な表現に注意して読む能力を身に付けるために、指導にあたっては、まず、本文を通読し、初発の感想を書かせる活動を通して、抽象的な語句や比喩表現、具体例が多いことに気付かせる。次に、本文中のキーワードとなる抽象的な語句に着目し、その語句の意味を調べ、さらに別の言い方に換えた部分や具体的なもので例えられた表現を探す活動を行い、的確に語句の意味を捉えるようにする。そして、比喩表現に着目し、それが本文中のどの部分を説明しているかを捉える活動を行い、その後で抽象的な語句の多い文章を読むにあたって大切なことは何かをグループで話し合い、解説文にまとめる活動を行う。このようにして、抽象的な語句が多い文章は、比喩表現や具体例などに対応させて読みとることが大切であることに気付かせたい。

4 単元の目標

- 学習活動の見通しを持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
- 文脈の中における語句の効果的な使い方に注意して読むことができる。(読むこと)
- 漢語などによる抽象的な語句の意味を捉え、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・情報化社会に関心を持ち、抽象的な語句や比喩的な表現に着目して論説文を読み、自分の考えを持とうとしている。	・抽象的な語句や比喩的な表現に着目し、それらの文脈中での意味を捉え、書き手の工夫に注意して読んでいる。 ・抽象的な語句や比喩表現、具体例に着目し、述べられている内容について立場を明らかにして自分の意見を持っている。	・文章中の抽象的な語句に興味を持ち、意味や類義語、対義語を調べ、語感を磨き語彙を豊かにしている。

6 単元の指導計画（5時間扱い）

主な学習活動	主な評価
1 本文を通読し、初発の感想を書き、「抽象的な語句や比喩表現、具体例に着目して解説文にまとめよう」という学習課題を設定する。	・本文を読んで気付いたこと、疑問に思ったことをノートに書いている。 (関心・意欲・態度)
2 抽象的な語句を中心に意味調べ、類義語調べを行う。	・辞書を使って語句の意味調べ、類義語調べを行い、ノートに書いている。 (言語についての知識・理解・技能)
3 抽象的な語句や比喩表現、具体例に着目して読みを深める。(本時)	・抽象的な語句は、具体的な例や比喩に対応させて読むことが大切であることに気付いている。 (読むこと)
4 抽象的な語句と、比喩表現や具体例との対応関係に着目して本文の主題を捉える。	・抽象的な語句とそれに対応する具体例を手がかりに本文の主題を捉えている。(読むこと)
5 抽象的な語句とそれに対応する比喩表現や具体例がどのような効果を生んでいるかを考え、解説文にまとめる。	・抽象的な語句とそれに対応する比喩表現や具体例がどのような効果を生んでいるか、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 (読むこと)

7 本時の学習

(1) 目標

比喩的な表現や具体的に説明している部分を手がかりに抽象的な語句の意味を捉えることによって、文章中の語句の効果的な使い方について読むことができる。

(2) 準備・資料

ワークシート 学習目標と課題解決の手順が書かれている掲示物

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>本文中に出てくる抽象的な語句と、何かにたとえたり具体例を用いたりして説明している部分に着目して、読みを深めよう。</p> <p>2 「知識の体系性」とは、どのようなものか、まとめる。</p> <p>「知識」「体系」の意味を辞書で調べよ</p> <p>知識…知っていることや内容 体系…個々別々のものを統一した組織</p> <p>「知識の体系性」を別言い方に換えた部分探そう</p> <p>知識とは、概念の内容や事象の記述が結び付き、体系を成している状態</p> <p>「知識の体系性」を体的なものに例えられた(比喻)ところを探そう</p> <p>・知識は幹の部分と枝葉の部分がある。 ・「家族」という概念は「夫婦」「民族」「共同体」とも結び付く。</p> <p>「知識の体系性」をまとめてみよう</p> <p>中心となる知識と派生的な知識が結び付き、組織を成す。</p> <p>3 「森の中のりんご」にたとえて説明していることを、文章中から探す。</p> <p>森の中</p> <p>ネット上の検索</p> <p>りんごの木がどの木で、その実がどの枝についているか</p> <p>構造的な結び付き</p> <p>りんごの実</p> <p>探している情報</p> <p>4 抽象的な語句の多い文章を読むにあたって、大切なことを話し合い、気付いたことをワークシートに書く。</p> <p>答え 抽象的な語句に対応する具体的な語句や比喻と比較して読む</p> <p>生徒 A 「知識の体系性」を樹木で表すと分かりやすい</p> <p>生徒 C 「りんご」のようなたとえの表現を探すと分かる</p> <p>生徒 B 「家族」の例でやっと「知識の体系性」が分かった</p> <p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>・抽象的な語句は、具体的な例や比喻に対応させて読むと具体的に理解できることが分かった。 ・他にも具体的な事例や比喻と対応させて読む必要のある語句がないかどうか疑問に思った。</p>	<p>・本時の学習課題を黒板に掲示し、学習課題をつかめるようにする。</p> <p>・課題解決の手順を黒板に掲示し、学習の見通しが持てるようにする。</p> <p>・ワークシートを配付し、3～4人組のグループをつくり、手順にしたがって学習活動を進めるようにする。</p> <p>・「知識」、「体系」の意味を書く活動については、前時ノートに書いた語句の意味調べを見て書くようにする。</p> <p>・「知識の体系性」を別の言い方に換えた部分を探すことができない生徒には、「知識」と「体系」が二つとも用いられ、詳しく述べられた1文を探すよう助言する。</p> <p>・「知識の体系性」を具体的なものでたとえられたところを探すことができない生徒には、文頭に「例えば」が用いられている部分、文末に「～に例えられていた」が用いられている部分に着目するよう助言する。</p> <p>・「知識の体系性」をまとめる活動にあたっては、グループ内での話し合いを通して、語句の取捨選択を行った上で、ワークシート1行で簡潔に書くようにする。</p> <p>・学習課題が解決した生徒には、文のねじれがないかどうか、もっと分かりやすくまとめられるかどうか、推敲するように促す。</p> <p>・たとえて説明していることが分からない生徒には、「森」や「りんご」は何を言い換えたものなのか、単語ごとに対応する事物を捉えるようにする。</p> <p>・学習課題が解決した生徒には、「森の中のりんご」のようにたとえて説明している表現は本文中でどのような役割を果たしているかをノートに書くよう促す。</p> <p>・本時で学習したことを振り返って、抽象的な語句の意味を捉えるには、どうしたらよいか話し合うようにする。</p> <p>・学習課題が解決したグループには、ワークシートにグループでまとめた考えを記入したり、全体に発表したりするようにする。</p> <p>・話し合いがまとまらないグループには、発表したグループの考えを参考にまとめるよう助言する。</p> <p>抽象的な語句は、具体的な例や比喻に対応させて読んで意味を捉えることが大切であることに気付いている。 (読むこと 観察・ワークシート)</p> <p>・本時の学習を通して学んだこと(抽象的な語句は、具体的な例や比喻に対応させて読むことで具体的に意味を理解することができる)を確認する。</p> <p>・次時は、抽象的な語句・表現と、具体的な事物の対応関係に着目して本文の主題を捉える学習活動を行うことを伝える。</p>